

# 調査事業名

# 「福島県・相馬地方の住民主体による持続可能な復興ビジョンづくり中間支援」実証事業

## 対象地域

福島県相馬地方4市町村：相馬市、南相馬市、新地町、飯舘村

## 応募団体名

東北コミュニティの未来・志縁プロジェクト(代表団体)、“2030ビジョン”プロジェクト、おひさまプロジェクト

相馬地方の住民が市町村域を越え、地震・津波からの復興と原発被害の克服に向けて語り合い、震災前より更にいい地域にしていくための対話の場づくりを支援するため、ワークショップや研修により地域住民の中からファシリテーターやリーダーとなる人材を育成する。さらに育成した人材のネットワーク化・グループ化を支援し、これらの団体が自発的・持続的に活動を行うための非資金的支援を実施する。将来的には、育成されたネットワークやグループがコーディネートし、地域住民が行政と協働で地域復興ビジョンづくりを行うプロセスに対して専門家派遣等の支援を行う。

### 平成23年度の主な活動(計画)

■住民の活動ベースとなる場づくり支援  
(まちなかでの移動カフェ・仮設住宅でのおひさまカフェの実施)

■地域づくりワークショップの実施  
(地域づくりの担い手の発掘、ファシリテーター育成、住民発の地域のあり方検討)

等

震災前より更にいい地域にしていくための対話の場づくりを支援



持続可能な地域の復興ビジョンを住民主体で描き、そこに行政も協働していくことを目指す

### 対話の場づくりの実践

仮設住宅での対話の場づくり



まちなか広場での対話の場づくり

行政とも協働

### ワークショップの開催

住民同士が課題共有  
↓  
協働の関係づくり  
地元復興の担い手づくり

NPO等の団体、プロのファシリテーターも参加

### 復興ビジョンづくり支援

ワークショップの結果を活用し市民・行政協働のビジョンづくり情報や専門的知見の提供  
→ビジョンづくりへつなげる